

原子力発電所に関する説明会
(事前にいただいた質問一覧)

令和3年3月21日
関西電力(株)

○ご質問

質問者	質問内容
1	<p>福井地裁大飯原発運転差止め訴訟で、樋口英明裁判長は「今回の裁判は危険かどうかを判断して決めます」と最初に宣言して、原告被告双方の主張を交換整理されました。裁判当日、判決がどうなるか知らないはずの被告関西電力は代理人を含めて誰も法廷に姿を現しませんでした。この事実は何を物語っているのでしょうか。関西電力が自ら原発は危険であると認めたという事でしょう。(司法への敬意を欠いた企業倫理も大問題です)</p>
2	<p>原子力発電は発電時には、CO2出さないとの事ですが、ウラン採掘や核燃料の生成段階から使用済み燃料の輸送、核燃料サイクル時、又処分時等においてもCO2を出さないのでしょうか？</p> <p>若し出すとするならば、他の発電方法よりどれだけ優れているのでしょうか？</p> <p>現在貴社では、温暖化防止のため、CO2を出さない発電方法に励んでいるという事で、太陽光発電や、水力、風力の再エネを表に出してコマースをなさっています。福井の立地自治体では、各自治体の町長が、国民の理解を得たうえでの稼働を望んでいます。</p> <p>貴社が十分に安全対策をして自信をもって発電していらっしゃる原子力発電、特にこの時期では40年を超えた原発をメインに据えたコマースを作製し、消費地の皆さんの理解を得る必要があるのではないのでしょうか？</p>
3	<p>中間貯蔵施設の候補地に「むつ市」を挙げたことにより、貴社と何の関わりも無いことがあたかも40年超えの老朽原発再稼働に関係するかの如く問題を起こした。むつ市長をはじめ市民の方々に、迷惑を与えている。</p> <p>むつ市の名を挙げたことを撤回し、謝罪する用意があるのかどうか。</p>
4	<p>核のゴミの仮置き場さえも確保できない。プルトニウムの処理も進まない。廃炉を進めると核のゴミはますます増えます。脱炭素で原発は良いという判断は間違っていると思います。もしも事故が起きた場合、関電は社長や幹部が辞任をすれば済むかも知れませんが、地元住民は孫・曾孫、子々孫々まで苦しみます。本当に責任が取れるのでしょうか？</p>
5	<p>関西電力は、これまで沢山の事故を起こし、巨額の原発マネー不正還流を起こしている。</p> <p>福井県民の安全を重視しているとは思えない。その様な会社に極めて危険な原子力を扱うことは直ちにやめるべきだ。</p>
6	<p>大飯原発3・4号機について、平成29年8月に原子力規制委員会から工事計画の認可を受けた申請における評価結果として、代表的な機器・配管系の耐震安全性評価結果が出されていますが、その中で蒸気発生器の伝熱管構造強度の評価基準値(481MPa)に対し、評価値(469MPa)とほぼ同じ値になっています。基準地震動の加速度(856ガル)は平均値なので、それを超える地震が来る可能性があります。</p> <p>そうすると基準値を超える可能性が高いと思われますが、違いますか。上乘せした場合の試算値を示して説明してください。</p>